

深セン・イノベーション株式ファンド (1年決算型)

設定から3年、
NAM 香港が語る投資環境と注目テーマ

中国のイノベーション企業を主要投資対象とする当ファンドは、2017年11月30日の設定から、3年が経過しました。本資料では、当ファンドのパフォーマンスの状況や投資環境、注目テーマなどについて、当ファンドの投資顧問会社である日興アセットマネジメントアジア リミテッド (NAM アジア) および、当ファンドのマザーファンドの運用に助言を行なう日興アセットマネジメント ホンコン リミテッド (NAM 香港) の見解をもとにご紹介します。

- 約1年間のパフォーマンスの状況
- 約1年間の銘柄別パフォーマンス寄与度
- ファンドを巡る長期的なテーマに関する見方
- 足元で注目する投資テーマ

日興アセットマネジメント
ホンコン リミテッド
シニア・ポートフォリオ・マネジャー
トウルーマン・ドウ



基準価額と純資産総額の推移

(2017年11月30日(設定日)～2020年11月30日)



(2020年11月30日現在)

基準価額

14,807 円

純資産総額

395 億円

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

本資料は、当ファンドの主要対象である「中国深セン・イノベーション・マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントアジアリミテッド、およびマザーファンドの運用に助言を行なう日興アセットマネジメントホンコンリミテッドからのコメントをもとに作成しています。本資料は、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

約1年間のパフォーマンスの状況

コロナショックからの回復に相対的な強さを見せ、 基準価額は力強く上昇

今年2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染が世界で拡大したことにより、当ファンドの基準価額も大幅に下落したものの、その後は、コロナ禍において**テクノロジー関連セクターが注目されたこと**や、**中国経済の早期の回復**などを受け、堅調な推移を見せました。足元では上値の重い展開が続いていますが、**約1年間のパフォーマンスは市場の動きを概ね上回るものとなりました。**

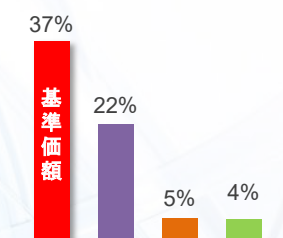
＜当ファンドの基準価額と主要株価指数の推移および期間別騰落率比較(円ベース)＞
(2019年10月末～2020年11月25日)



期間 A

(2019年10月31日～2020年2月26日)

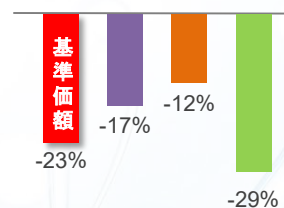
米中問題の緩和期待に加え、
5Gへの期待などから
テクノロジー関連
セクターが大きく上昇



期間 B

(2020年2月26日～3月24日)

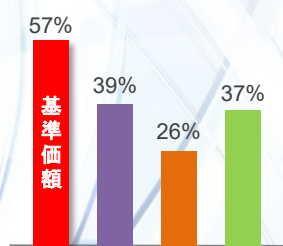
新型ウイルスの世界的
な感染拡大を受けて
市場が調整



期間 C

(2020年3月24日～7月15日)

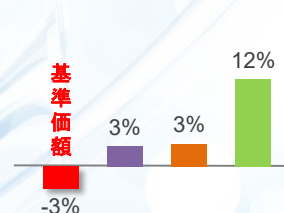
経済活動の再開期待
から市場は反発、
テクノロジー関連
セクターの上昇が顕著に



期間 D

(2020年7月15日～11月25日)

堅調な経済指標や政策
期待が下支えとなるも、
米中対立懸念や米IT銘柄
の軟調などが重石に



■ 基準価額 ■ 深センA株指数 ■ 上海A株指数 ■ MSCIワールド指数(配当込み)

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※ 各指数は当ファンドの基準価額の算出方法に準じ、前営業日の株価に当該営業日の為替レートを乗じて、日興アセットマネジメントが算出しています。
なお、各指数は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

約1年間の銘柄別パフォーマンス寄与度

約1年間における銘柄別寄与度を見ると、**新型コロナウイルスへの対応によって需要が高まった銘柄などが貢献**した一方、経済活動再開後の業績回復に遅れがみられた銘柄については、マイナス寄与となりました。

＜中国深セン・イノベーション・マザーファンドにおけるパフォーマンス寄与度＞
(2019年10月末～2020年11月16日)

寄与度上位5銘柄

銘柄名	業種	上場市場	寄与度	概要
● ラクスシア・プレシジョン	情報技術	深セン市場 中小企業板	6.3%	ケーブルやコネクタの開発・生産に従事。 ワイヤレスイヤホンの販売好調が貢献。
● チョンチン・ジーフェイ・ バイオリジカル	ヘルスケア	深セン市場 創業板	3.6%	医薬品メーカー。各種ワクチンの販売好調、 新型コロナウイルスワクチンへの期待。
● ゴアテック・インク	情報技術	深セン市場 中小企業板	3.0%	音響機器・電子部品メーカー。 ワイヤレスイヤホンの販売好調が貢献。
● イースト・マネー・ インフォメーション	金融	深セン市場 創業板	2.8%	オンライン金融サービス大手。 株式市場の活況で 証券売買、投信販売が好調。
● メイトウアン・ディエンピン	一般消費財・ サービス	香港市場	2.4%	生活関連サイト運営の大手。 デリバリー業務で 市場予想を上回る成長を継続。

● 2020年10月末時点の組入上位銘柄

コロナ禍でも堅調な業績を維持。7月初に**コロナワクチンの臨床試験**が第二段階に入ったことで、約1ヵ月で株価が99%上昇する場面も。その後セクター全体の調整を経て、足元では**新製品の認可や好調な7-9月期決算**が追い風に。

CHONGQING ZHIFEI
BIOLOGICAL

LUXSHA REPRECISION
& GOERTEK

米アップルのサプライヤー。今夏にかけて**同社の好業績の恩恵**を受けたほか、新型スマートフォンの発表で市場の期待が高まる。ワイヤレスイヤホンやVR（仮想現実）製品などの需要拡大から、**大幅な増益を継続**している。

寄与度下位5銘柄

銘柄名	業種	上場市場	寄与度	概要
モンネッツ・クラウド・ テクノロジー・グループ	情報技術	深セン市場 中小企業板	-0.7%	クラウドコミュニケーション大手。 5G関連新規業務の展開の遅れ。
ウェンズ・フードスタッフ	生活必需品	深セン市場 創業板	-0.7%	養豚・養鶏業最大手の一角。 畜産業者間の 競争激化と業績の減速。
メイニエン・ワンヘルス・ ヘルスケア	ヘルスケア	深セン市場 中小企業板	-0.5%	健康診断サービス企業。健康診断事業に関し、 ロックダウン後の 業績回復に遅れ。
BOEテクノロジー・ グループ	情報技術	深セン市場 メインボード	-0.3%	液晶パネル製造大手。 業績回復への懸念、 事業拡大への市場期待が高まるも未達。
エーエーシー・ テクノロジーズ	情報技術	香港市場	-0.3%	スマートフォン部品メーカー。スマートフォン販 売の減速で 関連部品販売が減少。

※業種名はGICS(世界産業分類基準)に基づきます。 ※写真はイメージです。

※パフォーマンス寄与度は、上記期間中の基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したものです。

※寄与度は、各銘柄の日次の保有比率および株価を基に計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコスト(売買手数料や信託報酬など)などは考慮されていません。また、外貨建ての銘柄については、円換算済みの概算値となっています。そのため、実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。なお、当ファンドにおける各銘柄の保有期間は異なります。

上記は、情報提供を目的として、パフォーマンス寄与度について、当ファンドの主要対象である「中国深セン・イノベーション・マザーファンド」の運用会社である日興アセットマネジメント アジア リミテッド、およびマザーファンドの運用に助言を行なう日興アセットマネジメント ホンコン リミテッドからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドを巡る長期的なテーマに関する見方

① 米大統領の交代や米中対立の影響

次期大統領下でも米中の分断は進むが、 トランプ政権時代とは違いが生じるとみる

バイデン次期大統領は対中政策に関し、トランプ政権のやり方を変え
ると考えています。今後4年の政治環境は、より「正常な」状態になり、
政治とビジネスの棲み分けが出てくるとみています。これは**投資家にとっ
て、予測の確度が高まる**ことを意味します。

米国の目先の優先事項は、新型コロナウイルス対策、経済の回復、人種問題など国内対立の修復、といっ
た米国内の問題であり、米中対立は短期的な課題ではありません。むしろ、**本来は中国との協調が望
ましい**とさえ言え、**気候変動などの新たなテーマにおいても、強調の余地は大きい**と考えられます。

一方で「トランプ主義」的な考え方は今後も継続するとみられることから、米中問題は元に戻るこ
とはなく、協調と競争が同時に起きる状態となります。ただし、バイデン次期大統領は中国の抑え込
みよりも、米国の発展そのものを、より重視すると考えています。従って、いかなる変化であれ、**投
資の観点からはトランプ政権時代よりは好ましい環境になる**とみています。

日興アセットマネジメント
ホンコン リミテッド
シニア・ポートフォリオ・マネジャー
トウルーマン・ドウ



＜中国本土株指数の推移(現地通貨ベース)＞
(2018年1月初～2020年11月25日)



※ グラフ起点を100として指数化
※ 大型株: CSI300指数、半導体セクター: CSI半導体チップ指数
※ 各指数は当ファンドのベンチマークではありません。
信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

長期的には、米中分断が中国の イノベーションを後押しする側面も

中国は今後も米国の手強い競争相手であり続け
るとみられ、米国はそうした中国の成長を抑えよう
とするでしょう。しかし、中国政府は、半導体や
ソフトウェアといった重要な技術の内製化をあきら
めることはありません。**こうした競争関係には、
中国のイノベーションを後押しする**という側面が
あります。米中分断は、短期的には中国企業への
プレッシャーとなりますが、**より長期的な視点で
見れば、決して悪材料**となるだけではありません。

例えば、ZTEやハイクビジョンのように、米国の
制裁対象となったハイテク企業も、一旦は大きな打撃を受けたものの、それぞれに対応策を講じる中で、
株価も徐々に回復基調となっています。また、米中対立の最前線である半導体に関しても、**強い需要や
当局の支援を材料に、関連銘柄の株価は力強く上昇**しました。

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。
また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、
日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場
環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドを巡る長期的なテーマに関する見方

② 長期的にはどのような政策が期待できるか



中国政府は足元で、 2035年までの長期目標を打ち出してきた

10月末の5中全会（中央委員会第5回全体会議）において、中国共産党は、「**2035年に一人当たりGDPを中程度の先進国の水準まで引き上げる**」という目標案を掲げました。

中国のGDP規模が2030年代に米国の水準に並ぶとも予想される中、中国の発展目標の重点は、既に経済全体の規模の拡大にはありません。実際に今回の目標案にも、「共に豊かになること」「中間層が明らかに拡大すること」などの記述がみられました。そうしたことから、今後の政策には、**経済構造の変革、個人消費の拡大、製造業の高度化**などが期待できると考えられます。

注目される「3つの大きな枠組み」

中国が発展するための問題解決策として、今回の目標案では「2つの循環」「イノベーションの強化」「改革と開放の深化」の3つの枠組みが打ち出されました。投資においてもこの枠組みに基づき、新しい成長ポイントを探ることができると思います。

<2つの循環>

内需強化と国際競争力の向上の両方を見据えた総合政策。

【投資テーマの例】

- ・国内消費の拡大・高度化
- ・東南アジアや欧州との経済連携
- ・米国依存からの脱却（半導体、コンピュータなど）

<イノベーションの強化>

とりわけ重点的な項目。高付加価値化、都市化、現代化の推進による経済発展の実現。

【投資テーマの例】

- ・製造業の高度化：5G、工場の自動化、工業用IoT など
- ・自主開発技術の育成：半導体、AI（人工知能）、EV（電気自動車）など

<改革と開放の深化>

生産要素市場改革、所得分配の改善、資本市場の対外開放などが内需の拡大に寄与するとみられる。

【投資テーマの例】

- ・物流、都市交通、通信などの伝統的な経済領域
- ・データエコノミーや「新インフラ」関連分野など

※写真はイメージです。

足元で注目する投資テーマ①

新エネルギー分野のイノベーション、 太陽光発電とEV（電気自動車）に注目

環境に配慮した持続的な経済成長は、近年、中国が最も重視している目標の一つです。中国は今後30年をかけて、化石燃料への依存から再生可能エネルギーへと軸足を移すとしています。

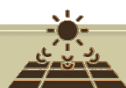
足元で太陽光発電のコストは化石燃料のコスト水準に徐々に近づいており、太陽光発電機器の普及は世界で急速に拡大しています。**中国の太陽光エネルギー産業には世界的な競争力があり、サプライチェーン、技術、コストのいずれにも明らかな強みを持つ**ことから、こうした成長の恩恵を最も大きく受けると考えられます。

そのほか、EVの分野も注目されます。中国は現在、世界最大のEV市場を抱えており、補助金による支援終了後も、好調な販売を維持しています。中国企業は、**車載バッテリー（電池）分野で高い競争力**を持つほか、**EVメーカーとしても、米テスラに次ぐブランド**を次々に築いています。世界でEVの普及が進む中、引き続き中国のEV関連企業は重要な位置を占め続けるとみられます。

こうした太陽光発電やEVは、巨大な国内市場のみならず、今後新興国を含む世界に広がると考えられ、**発展の余地が非常に大きい**分野であるとみています。

2020年10月末時点の組入上位銘柄からご紹介

トンウェイ



畜産・水産事業と太陽光エネルギーを事業の2本柱とする。養魚場の上に太陽光パネルを設置する「漁光一体」事業を展開。太陽光エネルギー部門は多結晶シリコンと太陽電池が主力製品。

ロンギ・グリーン・エナジー



太陽電池の原材料となる単結晶シリコンとウエハーの開発、製造、販売を手掛ける。近年はソーラーパネル製造や太陽光発電設備の組立て、発電などのグリーンエネルギー事業を拡大。



ウーシー・リード・インテリジェント



ハイテク機器メーカー。リチウム電池機器や太陽光発電機器などの開発・製造を手掛ける。足元ではEV向けリチウム電池が業績を牽引。

※写真はイメージです。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。
また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

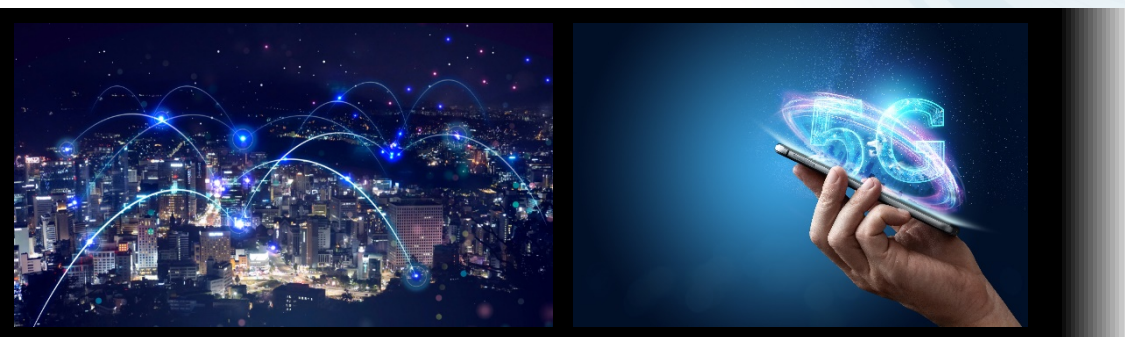
当資料は、投資者の皆様へ「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元で注目する投資テーマ②

「5G」は新たなビジネスモデルを誕生させるほか、IoTや自動運転に飛躍的な発展をもたらす

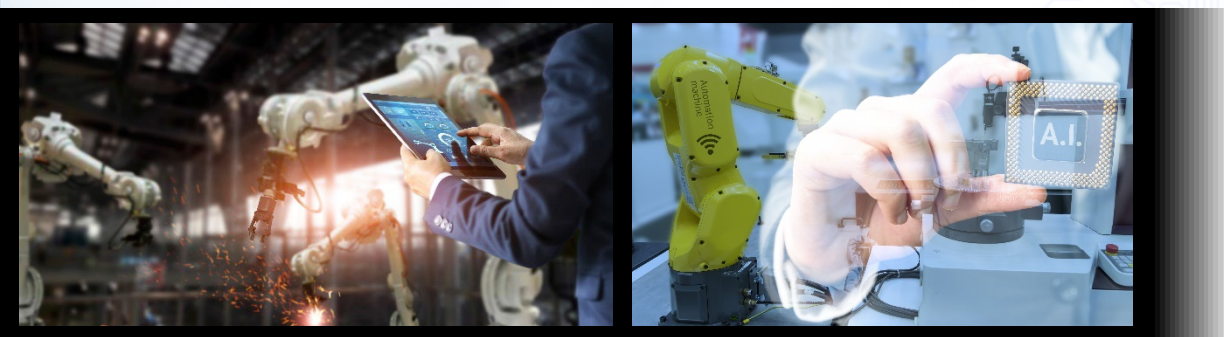
中国は**5Gの分野で世界市場を牽引**しています。今年の1月～9月における5G対応端末の出荷台数は1億台を超えたほか、9月末時点の建設済み基地局数は約70万カ所に及びます。これは日本の目標である「2023年度までに約21万カ所」と比べても、非常に速いスピードで建築が進んでいると言えます。

5Gのネットワークとハードウェアが普及すれば、企業・個人の両分野での応用が進み、これまでのモバイルインターネットとは異なる**新しいビジネスモデルが生まれます**。また、工業用IoTや自動運転などの分野でも、**5Gによって飛躍的な発展が見込めます**。



中国経済の飛躍を担う 製造業の高度化・自動化は、大きなチャンスを持つ

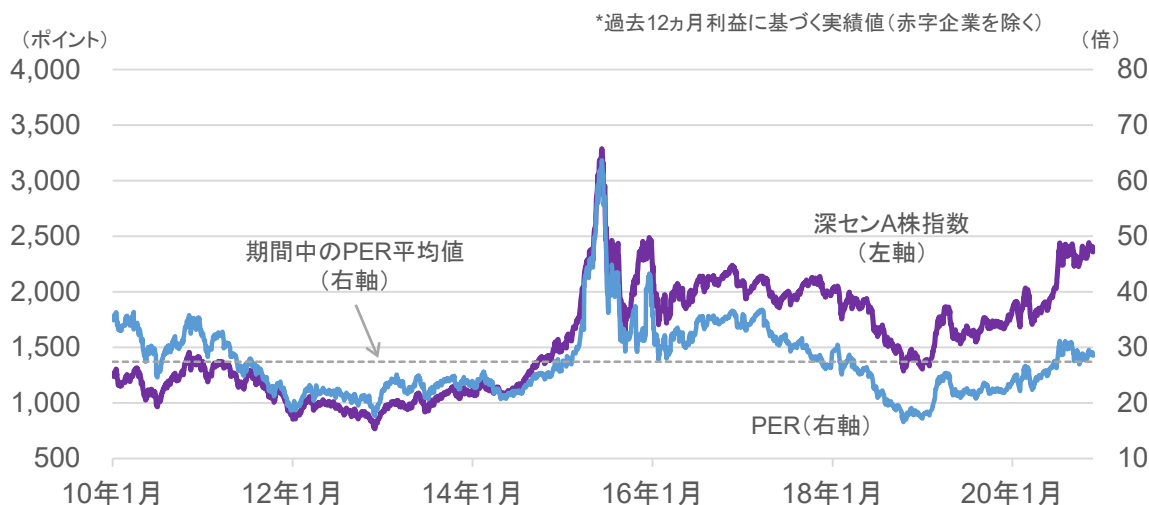
製造業は、中国経済が飛躍的な成長を遂げる鍵となりますが、現状では規模は大きいものの、未だ発展途上であると言えます。中国では今後も少子高齢化による労働力不足が進むことから、製造業の自動化と生産性の向上は避けて通れない課題です。そうしたことから、**製造業の高度化・自動化・スマート化を担う企業には大きなチャンス**になるとみており、**優れた技術を持つ製造業の成長機会は非常に大きい**と考えています。



※写真はイメージです。

(ご参考) 深センA株指数のバリュエーションなど

＜深センA株指数(現地通貨ベース)および同指数のPER* (株価収益率)の推移＞
(2010年1月初～2020年11月25日)



＜深センA株指数(現地通貨ベース)および同指数のPBR (株価純資産倍率)の推移＞
(2004年1月初～2020年11月25日)



※当ページに記載の指数はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの概要（2020年10月末時点）

通貨別組入比率

通貨	比率
中国元	87.4%
香港ドル	8.2%
アメリカドル	2.7%

上場市場別組入比率

上場市場	比率
深セン市場	74.6%
メインボード	6.1%
中小企業板	42.0%
創業板	26.5%
上海市場	12.8%
香港市場	8.2%
米国市場	2.7%
その他市場	0.0%

業種別組入上位10業種

業種	比率
情報技術	46.0%
ヘルスケア	19.4%
一般消費財・サービス	9.6%
資本財・サービス	8.3%
素材	7.3%
コミュニケーション・サービス	3.8%
生活必需品	2.1%
金融	1.8%

組入上位10銘柄

（組入銘柄数 65銘柄）

	銘柄名	通貨	上場市場	業種	比率
1	LUXSHARE PRECISION INDUSTR-A ラクスシェア・プレシジョン	中国元	深セン市場 中小企業板	情報技術	6.0%
2	GOERTEK INC -A ゴアテック・インク	中国元	深セン市場 中小企業板	情報技術	4.1%
3	CHONGQING ZHIFEI BIOLOGICA-A チョンチン・ジーフェイ・バイオロジカル	中国元	深セン市場 創業板	ヘルスケア	3.4%
4	HUALAN BIOLOGICAL ENGINEER-A フアラン・バイオロジカルエンジニアリング	中国元	深セン市場 中小企業板	ヘルスケア	2.3%
5	WUXI LEAD INTELLIGENT EQUI-A ウーシー・リード・インテリジェント	中国元	深セン市場 創業板	情報技術	2.1%
6	TONGWEI CO LTD-A トンウェイ	中国元	上海市場	生活必需品	2.1%
7	LINGYI ITECH GUANGDONG CO-A リンイー・アイテック・グァンドン	中国元	深セン市場 中小企業板	情報技術	2.0%
8	HANGZHOU HIKVISION DIGITAL-A ハイクビジョン・デジタル	中国元	深セン市場 中小企業板	情報技術	1.9%
9	LONGI GREEN ENERGY TECHNOL-A ロンギ・グリーン・エナジー	中国元	上海市場	情報技術	1.9%
10	MEITUAN-CLASS B -B メイトゥアン・ディエンピン	香港ドル	香港市場	一般消費財・サービス	1.9%

※上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※一部の市場において、流動性などを勘案して、該当企業のADR・GDR（預託証券）等を組入れる場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「深セン・イノベーション株式ファンド（1年決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色



中国のシリコンバレーとして知られる深センに着目し、イノベーション企業の成長を積極的に捉えます。



日興アセットマネジメント アジア リミテッドが運用を行ないます。



年1回、決算を行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

【お申込みに際しての留意事項】

リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】 【流動性リスク】 【信用リスク】 【為替変動リスク】
【カントリー・リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認くださいの上、お客様ご自身でご判断ください。

当資料は、投資者の皆様は「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

【お申込みメモ】

商品分類	追加型投信／海外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2027年11月25日まで(2017年11月30日設定)
決算日	毎年11月25日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・シンガポール証券取引所の休業日 ・深セン証券取引所の休業日 ・香港証券取引所の休業日 ・シンガポールの銀行休業日 ・中国の銀行休業日 ・香港の銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

【手数料等の概要】

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。
＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※ 購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※ 収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率1.705%(税抜1.55%)</u>
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有望証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※ 運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。 また、有望証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。
※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【委託会社、その他関係法人】

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメントアジアリミテッド
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

【投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは】

金融商品取引業者等の名称			加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○			
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第3号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号			○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
a u カブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○	
十六T T証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第188号	○			
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○			
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			○
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
株式会社福岡中央銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第14号	○			
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)

当資料は、投資者の皆様には「深セン・イノベーション株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。